

通期の見通し

今後もITの活用は重要と予想

今後の経済状況につきましては、原油高や原材料高の継続、米国の景気後退による輸出の減少、株式・為替市場の変動等の影響により、景気の下振れリスクが高まっています。

このような状況においては、ITを活用して経営課題の解決を図ることが、企業規模や業種・業態を問わず、ますます不可欠な状況になってくると予想されます。

当社グループも、オフィス全般をサポートする総合力を活かして、お客様のビジネスをサポートし、既存のお客様とのさらなる取引拡大を図り、オフィスサプライ通信販売事業「たのめーる」を重要な戦略事業と位置づけて、新規顧客の開拓に努めます。



インターネットたのめーる
<http://www.tanomail.com>



たのめーるカタログVol.20

セグメント別の施策

セグメント別では、システムインテグレーション事業において、情報セキュリティ関連ビジネス、ナレッジマネジメントシステム「ODS21」、統合型基幹業務システム「SMILE」、CADシステム等に注力しながら、当社グループの強みを活かした複合システム提案や総合提案を進めます。

ODS21 : 紙文書をデジタル複写機でデータ化し、他のデジタルデータとの一元管理により情報を共有、活用するナレッジマネジメントシステム。

SMILE : 当社グループオリジナルの統合型基幹業務システム。

たのめーる : オフィスサプライ通信販売の事業ブランド。

たよれーる : お客様の情報システムや企業活動全般をサポートする事業ブランド。

SPR : 当社独自開発の顧客管理及び営業支援システム。

サービス&サポート事業では、オフィスサプライ通信販売事業「たのめーる」において、新商材の投入、プライベートブランド商品「TANOSEE」の強化、他社とのアライアンス等を進め、サポート事業「たよれーる」においては、サービスメニューの充実とともにさらに分かりやすいメニュー体系化を進めます。以上の施策により、サプライや契約保守といった安定的な収益が見込めるストックビジネスのシェアを着実に高めていきます。

今後の施策

75万社の既存顧客との取引継続と深耕

「地域密着型営業体制」の強化

ストックビジネスの強化

「SPR」のさらなる進化と活用推進

サポート品質向上による生産性向上

業績見通し

以上により、通期の連結業績見通しといたしましては、売上高4,890億円(前年同期比4.2%増)、営業利益309億円(前年同期比2.8%増)、経常利益312億円(前年同期比2.2%増)、当期純利益は2007年12月期に計上した退職給付制度移行による特別利益の影響もあり、160億30百万円(前年同期比15.0%減)を計画しております。

セグメント別の売上高では、システムインテグレーション事業が2,806億円(前年同期比0.3%増)、サービス&サポート事業が2,062億円(前年同期比10.1%増)、その他の事業が22億円(前年同期比7.2%減)を計画しております。2008年2月5日に発表した通期業績予想に変更はありません。

売上高・利益計画

(単位:百万円)

	2007年12月期	2008年12月期 (計画)	
	金額	金額	増減率
売上高	469,481	489,000	+4.2%
営業利益	30,051	30,900	+2.8%
経常利益	30,520	31,200	+2.2%
当期純利益	18,856	16,030	-15.0%

セグメント別売上高計画

(単位:百万円)

	2007年12月期	2008年12月期 (計画)	
	金額	金額	増減率
システム インテグレーション事業	279,753	280,600	+0.3%
サービス&サポート事業	187,358	206,200	+10.1%
その他の事業	2,370	2,200	-7.2%